署名にご協力ください。

必要経費は1億6千万円。
市税全体のわずか0．5%の
やりくりで実現できます。

人口10万人当たりの病床数は、2019年流山市は578床（県平均980床）です。市長は「人口比で病床数が少ない」「緊急時の病床不足が喫緊の課題」とするも、実現可能性が不明で、実現しても数年かかる「新病院誘致」しか代替案はありません。

現在、医師会等へ委託している平日夜間診療所（保健センター内）の業務委託時間単価を基準に、その他の救急医療への委託等を引き上げ、維持・充実を図りましょう。

救急医療の維持・充実を



日本共産党 流山市議会議員

おだぎり たかし

ご意見を
お聞かせください

流山民報（23.10.1号外）

日本共産党東葛地区委員会　☎：7176 - 3711　fax：7176 - 3716
ご連絡いただければ、取りに伺います。

要　望　書

流山市長　井崎　義治　様

１，救急医療を提供する医療現場への財政支援は時間単価で、第２次救急医療は８６４３円、夜間小児救急医療はたった６６６５円しかありません。平日夜間診療所（保健センター内・医師会へ委託）における時間単価（３万３９３５円）を基準に改定・引き上げを行い、市内全体の救急医療の維持・充実を図ってください。

お　名　前	ご　住　所